

成分名	パルミチン酸セチル
英 名	Cetyl Palmitate
CAS No.	540-10-3
収載公定書	薬添規 外原規 EP NF
A TOXNET DATABASE へのリンク	https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/540-10-3

投与経路	用途
一般外用剤	基剤

1. 単回投与毒性

① LD₅₀

動物種	投与経路	LD ₅₀	文献
マウス	経口	> 5000 mg/kg	1)
ラット	経口	> 14.4 g/kg	1)

以下、2-5については該当文献なし。

2. 反復投与毒性

3. 遺伝毒性

4. 癌原性

5. 生殖発生毒性

6 局所刺激性

6-1 マウス

5匹のヌードマウスにオイル 50%希釈液を5日間1日2回塗布した。刺激性はなかった。同様に50%の希釈液を24時間のパッチを行っても刺激性はなかった。¹⁾

6-2 モルモット

モルモットに対する1%懸濁液の刺激性試験では、低刺激性はあったが感作性はなかった。¹⁾

① ウサギに対して、50%の蒸留水懸濁液を2.0g/kg、24時間閉塞パッチを行った。皮膚に対する毒性および刺激性を認めなかった。¹⁾

② ウサギの眼に対しては低刺激性を示したとの報告もある。¹⁾

7 その他の毒性

該当文献なし。

8 ヒトにおける知見

① 5人の健常者でのパルミチン酸セチルのオイル 50%希釈液のパッチテストでは、刺激性はなかった。¹⁾

② パルミチン酸セチル 2.7%の製剤では、弱い感作物質となり低刺激性も有する。光毒性はなかった。¹⁾

引用文献:

- 1) Andersen, FA.; Int J Toxicol; 16 (S. 1) 123-130 (1997)

PEC JAPAN SAFETY DATA